

## 京のヤママユの里づくりプロジェクト

～虫たちを観て触れて知ることによって環境の現状と将来を考える～

京都北山やままゆ塾 塾長 齊藤 準（京都工芸繊維大学）

京都には、雑木林、竹林、田畑、ため池、用水路を含めた人の生活と関わりの深い自然環境としての「里山」が残されています。この里山は人為的な管理が加えられることで維持され、人々はその中で季節の変化を感じながら自然と共生してきました。北山周辺地域には、上賀茂神社の北側に広がる上賀茂本山から生物群集が国の天然記念物に指定されている深泥池、松ヶ崎には五山の送り火の「妙法」が灯る西山（万灯籠山）と東山（大黒天山）があり、宝が池から岩倉へと市街地に近いながらも豊かな里山の自然が残されています（図 1, 2）。里山は多種多様な動植物の宝庫であり、このような自然が残されているのも京都の特色です。しかし、近年このような里山の環境が急速に悪化しているのも事実です。その原因は複雑で、地球温暖化とそれに伴う自然災害、森や竹林の放置、松枯れやナラ枯れ、シカの食害などが複合的に関係しています。このことが地域の生態系に影響して、そこに暮らす生きものの多様性を失うきっかけになっています。京都における里山の環境は、単に森林景観というだけでなく多様な生きものを育む重要な地域となっています。そこに暮らす生きものたちは、生物資源あるいは遺伝資源として有益であるばかりか文化資源としても重要であると考えます。北山の森林を構成する主要な樹木としてブナ科のアベマキやコナラなどがあります。これらのブナ科植物は多くの昆虫に利用されていますが、環境の変化に伴ってそれらの姿をみる機会も少なくなっています。

### 京都北山やままゆ塾

2011年4月からは、京都産昆虫の多様性を活かした環境教育による環境保全活動を推進することを目的に、ヤママユの飼育を通じて自然とふれあい、身近な自然環境の大切さを学ぶ活動を広げるために、「京都北山やままゆ塾」を開塾しました。活動は、(1)北山の自然に親しみ、環境をみつめる、(2)ヤママユなどの虫たちを育てることで生命の大切さを知る、(3)環境を守る気持ちと地域コミュニケーションを育み、豊かな未来につなげる環境教育研究を展開することを目標としています（図 3）。団体名にある「ヤママユ」は、日本原産のヤママユガ科を代表する蛾で幼虫はブナ科植物の葉を餌とする里山の象徴的な生きものです（図 4）。この名を冠することで、身近な自然への関心とそこに暮らす生きもの生命の大切さを常に意識しながら環境保全活動を展開しています。

**京都産ヤママユの保護：**京都における自然環境の変化に伴う生態系への影響は、昆虫種数や個体数の減少にもつながっています。2009年8月に京都市左京区松ヶ崎で捕獲した雌成虫から採卵を行い、京都市松ヶ崎産のヤママユとして15年間にわたり系統維持を行っています。このことは北山に生息する本種の生息域内保全にもつながっています。**親子で自然環境へのふれあい：**活動に親子で参加しながら地域の現状を知る機会にいただき、次世代を担う子どもたちには京都の自然とそこで暮らす生きものの素晴らしさを感じてもらおうプログラムを実施しています。学習会・観察会として2017年からヤママユの幼虫を自宅で育ててもらい、観察結果を発表してもらおう家族で取り組むプログラム「育ててみよう！ヤママユ」を実施しています。また、2015年からは毎年9月に宝

が池公園をフィールドに親子で参加する子ども自然観察会を行っています。一方、2015年からは毎年8月に夏休み期間に京都の昆虫を知っていただく機会として、ミニ昆虫展「京の虫たちの不思議な世界」を開催しています(図5)。子どもを含めた多くの市民の方々にご来場いただき、昆虫の世界を知る機会になっているものと思っています。**大学生の地域社会とのコミュニケーション:** 塾生として学生には、卒業までのわずかな期間ではありますが、活動を通じて自身が学ぶ京都の自然にふれることでその豊かさを体感してもらい、地域課題に積極的に関わる機会をつくっています。**地域の環境教育への貢献:** 京都の昆虫の世界について、生態と生息環境など幅広い視点から紹介する出前授業(環境学習)を実施しています。京都市立松ヶ崎小学校では2011年から13年間にわたり毎年行っています。2014年からは5月からの2ヶ月間校舎の一角でヤママユの成長を観察してもらい生体展示を行い、松ヶ崎の宝物「ヤママユ」を教材に虫眼線でみえる地域の自然の大切さと実物を観ることで生きものの不思議を感じてもらっています。また、2013年からは京都府全域の30の小学校で出前授業を行っています。さらに、2016年から京丹後市の小学校ではフィールドワークを含めた体験教室を実施しています。

その他、保育からシニアまで幅広い世代に向けての公開講座を実施しています。昆虫という最も身近な生きものを通じて地域の自然環境の大切さを実感していただける貴重な機会となっているものと考えています。



図1 京都北山周辺地図



図 2 京都北山周辺の自然

## 京都北山 **やままゆ塾**

### やままゆ塾とは？

京都北山の自然の中で生きものとふれあい、ヤママユの飼育を通じて身近な環境を大切にすることを育てることを目的として、2011年4月に開塾しました。

### 活動目標

- ① 北山の自然に親しみ、環境をみつめる
- ② ヤママユなどの虫たちを育てることで生命の大切さを知る
- ③ 環境を守る気持ちと地域のコミュニケーションを育み、豊かな未来につなげる環境教育研究を展開する

図 3 京都北山やままゆ塾



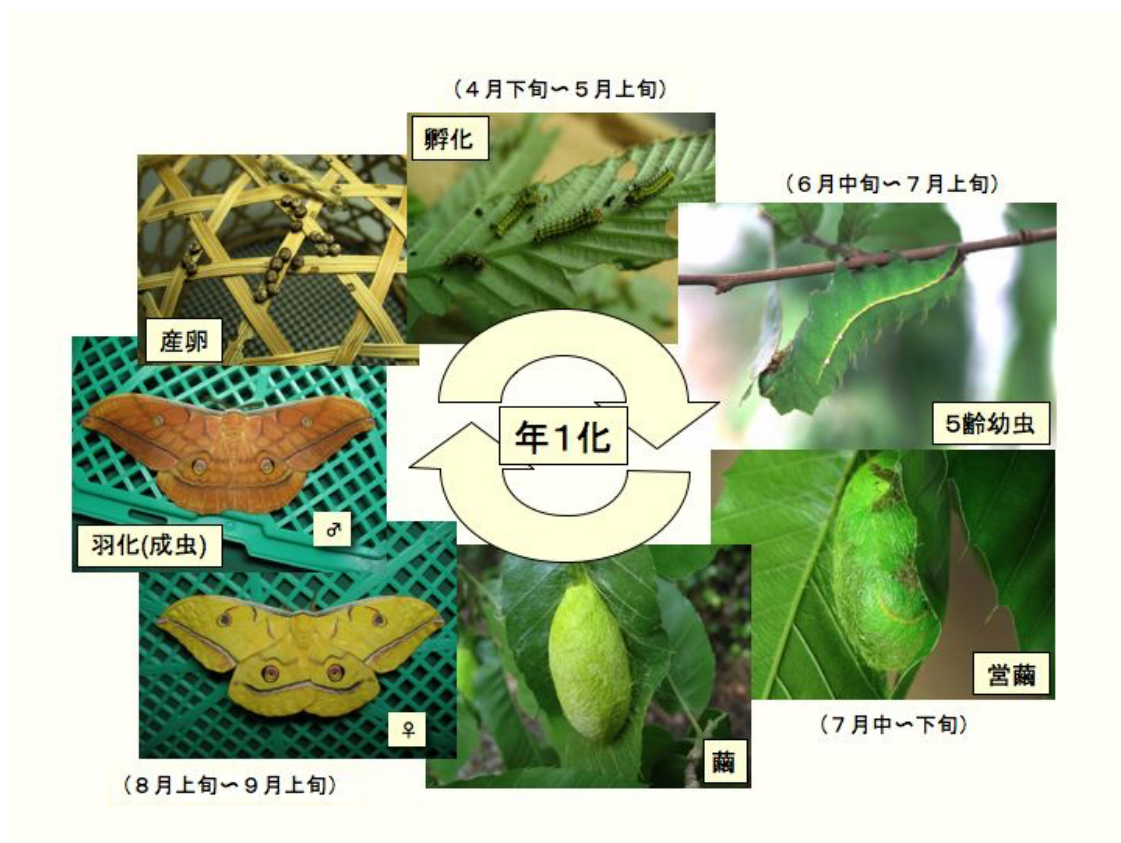


図4 ヤママユの生活環



図5 ミニ昆虫展:京の虫たちの不思議な世界